**継続的専門能力開発(CPD)実績の記録（Ｂ）**

**氏名**：　　　　　　　　　 　　　**登録番号**：

|  |
| --- |
| 専門能力開発のテーマ |
| ＊対応する「ＣＰＤ実績の記録（Ａ）」の項目番号を転記する。例）“自己学習等”の１番目に記入したものは“**４－①**”と記入する。 |  |
| 専門能力開発の目的及び習得内容 |
| ＊学習の「目的」及び「習得内容」について、500～1,000字程度で記述する。次ページへの繰越可であるが、1000字を大幅に超えることなく要点を記述すること。 |
|  |

**【様式4B（CPD実績の記録B）の記入上の注意】**

様式４B（CPD実績の記録B）は、マネジメントシステム審査員が自らの力量を維持・向上するために実施した能力開発活動の結果として、力量の維持・向上が得られたことを自らの文章で記述することによって第三者に実証するための記入様式です。目的と習得内容の記述が必要です。

・目的：どのような目的で能力開発に取り組んだかを簡潔に記述して下さい。所属機関の指示によって研修等に参加した場合においても、自らがその活動参加によって期待したことの記述をお願いします。

・習得内容：力量の維持・向上が得られたことを実証するために、何を学んだかを十分に記述していただく必要があります。学んだ知識、技術、知見等の内容を具体的に記述して下さい。学んだことをすべて網羅して記述する必要はなく、目的に照らして特に有効であった点に絞って記述していただいて結構です。

習得内容の記述不備の例

１）何に関して学んだか（例えば、トレーサビリティについて学んだ、PL法について学んだ）といった学習のテーマしか記述されていないケース

⇒そのようなテーマに関して学んだ内容のポイントをお書きください。

２）何をやったか（例えば、資料を作成した、研修に参加した、講師として教育を実施した）といった活動した内容しか記述されていないケース

⇒そのような活動の結果、あるいは活動の準備作業において学んだことをお書きください。

３）書籍や研修の目次を列挙しているだけのケース

⇒目次を列挙しても力量の維持・向上の実証にはならないので、実際にためになった主な内容を具体的にお書きください。

４）過去に提出したCPDと同一の習得内容を記述しているケース

⇒学習対象は同一のものでも構いませんが、力量の維持・向上に役立った新たな学びの内容を記述してください。

以上